

第 1 回

臨床検査支援協会

Association for Support of Clinical Laboratory

臨床検査支援協会 (ASCL) 始動

2018年

11月17日 土 12:10-13:00

会 場：第 8 会場（京王プラザホテル 4 階 花 D）

総合司会：石橋みどり（新東京病院臨床検査室 部長）

第一部

司会：高加國夫（ASCL 副理事長）

**「特定非営利活動法人
“臨床検査支援協会”の立ち上げと
活動方針」**

講師：渡邊清明（ASCL 理事長）



第二部

司会：高橋伯夫（ASCL 副理事長）

**「新バイオマーカー
“酸化型アルブミン”の
測定法と臨床的意義」**

講師：安川恵子（東京大学医学部附属病院検査部）



ASCL
Association for Support of Clinical Laboratory

入場には整理券が必要です。

整理券配布場所：京王プラザホテル南館 4 階 錦 ホワイエ

整理券配布時間：11月17日 8:00～11:30

共催：第 65 回 日本臨床検査医学会学術集会
特定非営利活動法人 臨床検査支援協会

〔第一部〕

「特定非営利活動法人 臨床検査支援協会」 立ち上げと活動方針

特定非営利活動法人 臨床検査支援協会 理事長 渡邊清明

今や臨床検査はさらなる発展が望まれ、主要な役割を果たす臨床検査技師においても、今まで以上の人材の確保と質の向上が求められている。

しかし、現状では臨床検査は発展の一途を辿っているものの、それを支えるインフラが必ずしも確固となっていない。また臨床検査関連の人材、特に退職された臨床検査技師の方々の活用も十分になされていない。

そこで、我々は今後臨床検査に携わる人材の技術の向上を支えるインフラ組織が必要と考えて、本年2月に公益性の高い「特定非営利活動法人臨床検査支援協会」を設立した。

本法人の具体的な活動方針は、各種団体等が実施する臨床検査技能試験の研修及び実施支援などの臨床検査技能の向上を支援する事業、検体検査の精度向上に関する事業、学術講演会を開催する事業、講演会の開催を支援する事業、臨床検査及び臨床検査技師の社会的認知向上のための普及・啓発事業などを行なう事である。

これらの活動を通じて、今後臨床検査を担う多くの人材の確保と質の向上を確実に支援し、ひいては臨床検査の全体の発展に貢献して行く所存である。

本講演では本法人の設立経緯、組織、構成メンバー、活動内容の詳細についてお話をさせて頂く。

〔第二部〕

新バイオマーカー「酸化型アルブミンの測定法と臨床意義」

東京大学医学部附属病院 検査部 安川恵子

1985年、H.Seisにより、「Oxidative Stress」(酸化ストレス)の概念が提唱された。

それ以降、酸化ストレスと癌、生活習慣病、アルツハイマー病、その他多くの疾病、身体機能の低下、老化等との関連が報告され、それらの病態と深く関わりがあると考えられている。

それらの報告における酸化ストレスの評価には研究的な種々の手法が用いられているが、簡便で迅速、感度、精度が高く、一般臨床で用いることのできる測定法が待ち望まれていた。一方、アルブミンは体内(血管内外)に広く分布しており、アルブミンの糖化と同様、その酸化は体全体の酸化状態を反映すると考えられる。従来から還元型/酸化型アルブミンの酸化ストレスマーカーとしての重要性は認識されていたが、既存の測定法は時間を要し、分離も悪く正確度も低い等の問題があり、臨床応用は進んでいなかった。

我々は臨床応用を目的として、還元型/酸化型アルブミンの簡便、迅速で高精度な測定法を開発した。また、測定の際、検体の劣化(酸化)を防ぐために、厳密なサンプリングが必要であったが、それら厳密な操作は日常の現場においては不可能である。この検体のサンプリングに関する課題についても解決し、酸化型アルブミンと種々の病態との関係を検討した。その結果、酸化型アルブミンは糖尿病、冠動脈疾患、肝疾患などにおいて、病態、および病態の進展を良く反映しており、酸化ストレスのマーカーとして一般臨床の場で有用な、新しいバイオマーカーになる可能性が示された。

お問合せ先：特定非営利活動法人臨床検査支援協会(ASCL)事務局
〒162-0811 東京都新宿区水道町3-14 神楽坂Nビル
TEL:03-3267-0665 FAX:03-3267-0665 E-mail:info@ascl.or.jp
ホームページ：<https://www.ascl.or.jp>